

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	老人ホーム入所者援護事業			事業コード	0433
担当課等	所属名	保健福祉部 高齢者支援室	担当係名		
	課長名	渡邊 光市	担当者名	保健福祉部 高齢者支援室 深田	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	コード 4
	基本事業	高齢者福祉サービスの充実	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 3目 老人ホーム入所者援護事業 (006-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和38年度～)		
事務事業の概要	環境上及び経済上の理由により、在宅生活が困難な高齢者を老人ホームへ入所措置する。					
根拠法令等	老人福祉法、盛岡市老人福祉法施行細則					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
老人福祉法第1条の目的(老人の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じ、もって老人の福祉を図る)を具現化することを目的に昭和38年度から開始されたもの。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
福祉関係者から、高齢者を保護するために必要な事業であり、今後もその役割は重要であるとの意見が寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
養護老人ホームでも介護保険制度を利用できるようになり、入所対象者の範囲は広がった。しかし、高齢化が進行する中、施設は満室状態が続いており、需要に十分に対応できていないのが現状である。今後は、要介護状態(要介護1～3程度)の待機者も増加していくと考えられる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	環境上及び経済上の理由により、居宅において養護を受けることが困難な65歳以上の高齢者。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 65歳以上の高齢者	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 入所希望者が入所要件に該当するかどうかを調査し、入所判定委員会の審査を経て、措置が妥当かどうかを決定した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 入所希望者が入所要件に該当するかどうかを調査し、入所判定委員会の審査を経て、措置が妥当かを決定する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 入所判定委員会審査件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	生きがいをもち、健全で安定した生活が送れる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 入所者数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	人
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	日常生活を安心して不便なく送ることができる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	相談などを受けている高齢者数(単位:人) 介護予防事業参加者数(単位:人) 介護保険サービス利用者数(単位:人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	65歳以上の高齢者	人	61,209	62,387	63,600	63,023	65,000	65,000	24年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	入所判定委員会審査件数	件	7	18	20	12	20	20	24年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	入所者数	人	116	114	130	117	120	120	24年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	269,928	264,967	296,567	273,843	293,611	294,000	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	229,215	224,569	260,066	229,567	247,817	248,200	*****
	⑧その他	千円	40,713	40,398	36,501	44,276	45,794	45,800	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	269,928	264,967	296,567	273,843	293,611	294,000	*****
	延べ業務時間数	時間	240	240	240	240	240	240	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	960	960	960	960	960	960	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	270,888	265,927	297,527	274,803	294,571	294,960	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定につながることから結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 現状では、施設入所定員を増加できないため、入所者数を増やすことができない。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 環境上の理由及び経済的理由により在宅生活ができない高齢者を法的に保護している事業であり、このような高齢者の生活の場がなくなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業に係る経費である措置費は、法的に定められた額であるため、削減できない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 措置対象者及び施設職員との調整や、必要書類作成に係る時間であり、緊急かつ迅速な対応を求められる事業でもあるため削減は難しい。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 法に基づき、平等に機会を設けている。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 法に基づき、適正に費用負担額を算定している。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 待機者の解消を図るため、各施設の待機者状況の把握に努め、円滑な入所につなげていく。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 需要の高い事業であるが、施設の定員により入所者数に限度があるため、待機者を減らすことが難しい状況である。各施設との情報交換や措置対象者への情報提供を密にし、待機者の少ない施設への措置を進めることで、待機者の減少に取り組む。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>見守り支援の取組みとして、事業の必要性は高い。今後も継続して実施していく必要がある。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;"> → <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>入所待機者の増加が予想されることから、施設情報の収集や関係機関との連携により待機者の減少に努める。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						